



2026年5月14日

各 位

会 社 名 株式会社 ユニバンス
代表者名 代表取締役社長 高尾 紀彦
(コード番号7254 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 執行役員 藤崎 一
(TEL. 053-576-1311)

**通期連結業績予想値と実績値との差異、特別損失（連結・個別）
および剰余金の配当（期末配当・増配）に関するお知らせ**

当社は、2026年3月期連結累計期間（2025年4月1日～2026年3月31日）の決算において、2026年2月13日に公表しました業績予想と実績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。併せて、同決算において特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、下記のとおり、2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当につき、2026年6月26日に開催予定の第93回定時株主総会に付議することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期の連結業績予想値と実績値との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 56,000	百万円 4,000	百万円 4,000	百万円 1,500	円 銭 71.93
今回実績値（B）	56,542	5,013	5,263	923	44.26
増減額（B－A）	542	1,013	1,263	△576	
増減率（%）	1.0	25.3	31.6	△38.5	
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	53,915	4,031	4,391	2,948	141.53

<差異の理由>

第4四半期連結会計期間において、為替が想定より円安で推移したことによる為替換算影響や、製品保証引当金の取り崩し等の影響により、売上高、営業利益及び経常利益ともに前回予想を上回りました。しかしながら、当社において事業の収益性低下がみられたことによる生産設備等の減損損失と、当社が保有する投資有価証券に関し実質価額が著しく下落したものについて減損処理を行い、評価損を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回りました。

2. 特別損失（連結・個別）の計上について

(1) 減損損失（連結・個別）の計上について

当社のユニット事業の一部および部品事業において事業の収益性の低下がみられたことから、当社が保有する固定資産について減損処理を行いました。この結果、減損損失16億22百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) 投資有価証券評価損（連結・個別）の計上について

当社が保有する投資有価証券に関し、実質価額が著しく下落したものについて減損処理を行いました。この結果、投資有価証券評価損 5億16百万円を特別損失に計上いたしました。

(3) 減損損失、環境対策費、および環境対策引当金繰入額（連結）の計上について

当社連結子会社である遠州クロムの工場敷地内における土壌および地下水汚染への対応に関連し、調査・モニタリング費用等の環境対策費 3百万円、また土壌修復工事内容について同敷地での操業を維持しながらの段階的な土壌掘削から、当該工場敷地での操業を終了した上での全面掘削へ計画を見直したことによる追加の支出見込み額等を環境対策引当金繰入額として 6億67百万円、加えて将来の当工場敷地での操業終了に伴い不要となる資産の減損損失 3億10百万円を、それぞれ特別損失に計上いたしました。

(4) 関係会社貸倒引当金繰入額および関係会社事業損失引当金繰入額（個別）の計上について

当社連結子会社である遠州クロムについて、前述のとおり環境対策費等の計上により当該子会社の財政状態が悪化したため、個別決算において、関係会社貸倒引当金繰入額 1億21百万円および関係会社事業損失引当金繰入額 8億63百万円を、それぞれ特別損失に計上いたしました。

なお、当該関係会社貸倒引当金繰入額および関係会社事業損失引当金繰入額については、連結決算上相殺消去されるため連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 配当の内容

期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2025年5月12日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	円 銭 10.00	円 銭 8.00	円 銭 7.00
配当金総額	208百万円	—	145百万円
効力発生日	2026年6月29日	—	2025年6月25日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

<理由>

当社の利益配分に関する基本方針は、常に企業価値を向上させるため、株主利益の増大を図り、経営の基盤と収益力の強化によりROEを高め、収益と財務のバランスを図りながら、DOEを指標として継続的に配当を向上していくこととあります。

2026年3月期の期末配当につきましては、上記の基本方針ならびに当期の業績や今後の財務状況などを総合的に勘案した結果、1株あたり8円から10円に増配といたします。これにより年間配当予想額は、1株につき18円となります。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	円 銭 8.00	円 銭 10.00	円 銭 18.00
前期実績 (2025年3月期)	7.00	7.00	14.00

以上